

JANSI Annual Conference 2015 ご意見、ご質問への回答、見解について

区分	ご質問・ご意見内容	JANSI または発言者の回答・見解
セッション3 「東日本大震災時の緊急時対応に学ぶ」、「危機対応能力の向上」		
ご質問	危機管理対応について、使えるリソースが限られている中でどこまでの危機を想定して対応していくのか知りたいと思いました。段階的に行われるのでしょうか、バランスを取っていくのか。	緊急時対応手順は、シビアアクシデント（炉心の重大な損傷を伴う事故）の発生を想定し、事象の進展に応じて計画されます。
ご意見	東嶋先生のお話の中に「自主的・自律的に判断し、行動する」事が列記され、パネラーの皆様からも同様のご発言がありました。これに対し、私は、自主的、自律的な行動を（促す）求めても、中々教育訓練でも得られないのではないかと考えます。私の提案は逆に既存のルール、手順の根本的な考え方をいかに正確に理解し、把握することが近道だと考えます。リスク、想定外の事象はこれに既存の事象と異なる場面があるので、従来の根拠との相違点を明確にとらえ、新たに対処すべき方法・手段を考える能力であると考えます。	災害に備えるには、体制と対応手順を準備することが大切であり、対応要員は手順の考え方を良く理解・把握しておき、想定外にも対応できる能力を身に付けておくことが必要です。また一方で、災害対応には様々な活動があることからこれらの各活動が適切な状況判断の下に「自主的・自律的に」なされることへの期待が述べられたものと理解しております。
その他		
ご質問	原子力は、世間ではひとまとめで受け入れられている。どこかでトラブルが起こると全部が影響を受ける。自動車や飛行機と異なるのは何故か。	原理や主構成機器は基本的にどの型式（炉型、車種、機種）でも一緒であるという点では原子力と自動車や飛行機は同じですが、技術への信頼感や技術の受益者とリスクを受ける者が一致するか否かというところが、原子力と自動車や飛行機では異なり、それがトラブルが起きたときの対応の違いにも影響しているのではないかと考えられます。
ご意見	ピアレビューは業界内の馴合いではなく、厳しくやっていることを示す意味、国民の信頼、規制からの信頼を得るためにも上手い世の中への出し方を検討してはどうか。	WANO ピアレビューの結果については、現状、WANO の方針で非公開とされていることから、これに準じて JANSI のピアレビューも同様に非公開としていることをご理解いただきたいと思います。 なお、ピアレビューの結果については、現在実施内容を検討中の各プラントの総合評価に反映することになります。このような仕組みとなっていることについて、引き続きカンファレンスの場等を通じて情報提供してまいります。
ご意見	各種事故調や吉田調書をもっと分析して、失敗から学ぶ姿勢をもっと見せるべき。	JANSI は、各種事故調査報告書（政府、国会、民間、東電、INPO、ASME 等 10 個の報告書）から教訓 350 個を抽出して整理し、7 分野 54 課題に集約し、電力各社が対応する「更なる安全性の確保」を除く 5 分野 27 課題に対して各社の取組を調査し報告書としてまとめました。更に、主要な課題に関しては、実際に取組が行われているか特定テーマレビューで確認することとしております。